

# 神戸大学 自治体・企業との 連携事業一覧

地域連携推進本部

2025年6月3日現在

(文責：松下正和)

# 兵庫県との連携事業



# 神戸大学－兵庫県 地域課題への取組み



- ・地域医療の連携（寄附）講座 **6件** ⇒ 全県域での医師不足解決へ
- ・県の専門委員会への委員派遣 **50人** ⇒ 地域課題に取り組む県政を支援

## 連携拠点でのさまざまな取組み

地域連携推進本部での学生  
ボランティア支援



起業プラザひょうごでの  
アントレプレナー講座



医学部附属地域医療活性化センター（兵庫県地  
域医療支援センター併設）での医療人材育成





# 神戸大学×兵庫県 地域課題への取り組み



- 2010年8月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

(兵庫県)学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業(地域コンソーシアムによる障害者の生涯学習支援体制の構築)	人間発達環境学研究所・発達科学部	津田 英二
地域医療循環型人材育成プログラム	医学部附属病院	医学部附属病院長
新型コロナワクチン副反応等医療体制確保業務	医学部附属病院	医学部附属病院長
兵庫県てんかん地域診療連携体制整備事業	医学部附属病院	医学部附属病院長
兵庫県臓器移植コーディネーター	医学部附属病院	医学部附属病院長
検体検査委託	医学部附属病院	医学部附属病院長
兵庫県移行期医療支援体制整備事業	医学部附属病院	医学部附属病院長
依存症医療従事者等研修等事業	医学部附属病院	医学部附属病院長
医師の働き方改革に関する県内現況調査等事業	医学部附属病院	医学部附属病院長
アレルギー疾患医療従事者等研修	医学部附属病院	医学部附属病院長
健康・医療データを活用したデジタルイノベーション支援事業	医学研究科・医学部医学科	南 康博
地域医療マインドの向上を図るための人材育成事業	医学研究科・医学部医学科	岡山 雅信
健康・医療データを活用したデジタルイノベーション支援事業	医学研究科・医学部医学科	村上 卓道
医療関係者と連携した健康づくり支援(骨折予防)事業	医学研究科・医学部医学科	村上 卓道
疾病別医療需給分析・展開業務委託事業	医学研究科・医学部医学科	村上 卓道

### ■「おおじみそ」を核とした交流活動やブランドづくり(地域×大学×企業のひょうご絆プロジェクト)

「おおじみそプロジェクト」は、丹波市春日町大路地区の地域住民によって20年以上にわたり原料生産と加工製造が行われている「おおじみそ」づくりの継続的な取組に向け、神戸大学実践農学の一環として2024年に立ち上げられた。学生は、生産者の高齢化や原料の供給が安定しないといった課題に、みそを生かした加工品開発や販路拡大などを模索し、地域の方々から大豆栽培やみそづくりなどを学びながら、地域活性化の方法や課題解決策の提案などに取組む(農学研究科・小川景司助教)





# 神戸大学×兵庫県 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 東播磨フィールドステーション

ため池をはじめとする地域資源の新たな管理システムを構築し、地域の持続的な発展を支えるために設置された、地域の交流・研究拠点（2018年6月、加古川市にて開所）

運営は、行政（兵庫県東播磨県民局）と3大学（神戸大学大学院農学研究科、京都大学大学院農学研究科および兵庫県立大学地域創造機構）の間で締結された連携協定のもと、行っている

管理システムを構築していくにあたって、農家、市民、ビジネスセクター、研究者など、多様な主体の連携を促す場となることを目指している



ため池・地域関連基礎データの収集と活用



ため池管理後継者の育成手法の開発



再生可能エネルギー活用によるため池保全



里山資源の活用に向けたコミュニティビジネスの創出



草刈りの継続実施に向けたコミュニティづくり

### ■ 「兵庫県農業環境論」の開講（農学研究科・中塚雅也教授）

日本における兵庫県の農林水産業の位置づけ、現状と課題、政策展開を正確に理解し、それをふまえた適切な対策を提案することを目的とした、兵庫県・JA兵庫中央会・農林水産省の職員ら実務経験教員によるオムニバス授業。

（※2010年8月19日に農学研究科は兵庫県農業協同組合中央会と連携協力協定を締結）

# 神戸市との連携



# 神戸大学×神戸市 地域課題への取り組み



- 2013年5月24日 **全学協定締結**
- (目的) 地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 医療産業都市での神戸未来医療構想



### ■ 大学発アーバンイノベーション神戸



(若手研究者の研究活動経費助成制度)

大学発アーバンイノベーション神戸  
University's Urban Innovation Kobe



▲成果報告会 (2023/2/9@六甲ホール)



### ■ (一社) 大学都市神戸産官学プラットフォームの設立 (2023/11/10)



役員

役職	氏名	所属
代表理事	高土 薫	(神戸新聞社相談役)
副代表理事	藤澤 正人	(神戸大学学長)
副代表理事	中村 恵	(神戸学院大学学長)
副代表理事	中井伊都子	(甲南大学学長)
副代表理事	田中 悟	(神戸市外国語大学学長)
理事	高坂 誠	(兵庫県立大学学長)
理事	辻 英之	(神戸市企画調整局長)
監事	濱名 篤	(関西国際大学学長)

### ■ ふるさと納税による「未来の神戸づくりに向けた大学等応援助成制度」の活用

2,459,000円  
(2024年度受入額)



### ■ 「R6年度大学と連携した地域課題の調査研究」4件採択400万円



# 神戸大学×神戸市 地域課題への取り組み

- 2013年5月24日 **全学協定締結**
- (目的) 地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



## 神戸 農村

START UP  
PROGRAMME

### ■ 神戸農村スタートアッププログラム

神戸市の農村地域（北区・西区）での起業や事業づくりに特化した、創業支援プログラムです。

神戸の農村に関係する事業者、農家、大学研究者、移住コーディネーター、デザイナーなど、多様なアクターがプラットフォームチーム（事務局：一般社団法人 神戸農村ラボ）をつくり、神戸市事業の一環として、活動を進めています。また、**神戸大学大学院農学研究科地域連携センター**の協力のもと、プログラムの企画を行うとともに、丹波篠山市で行っている「篠山イノベーターズスクール」とも連携しています。淡河宿本陣跡などを中心に、神戸市内の人と拠点を繋げながら、みなさんの創業を支援していきます。（（一財）神戸農政公社との連携）



# 神戸大学×神戸市経済観光局 地域課題への取り組み



- 2023年5月24日 **経済学研究科**と協定締結
- (目的) 相互に緊密な連携及び協力を図り、双方の保有する資源を有効活用することにより、市施策立案における経済学的知見の反映と学術研究の進展を通じて、地域経済の発展に資すること

## 連携拠点でのさまざまな取組み



(左) 宮尾龍蔵 経済学研究科長  
(右) 大畑公平 神戸市経済観光局長

本協定に基づいて取り組む内容は、(1) 施策の企画立案・検証に関する事項、(2) データ利活用の推進に関する事項、(3) 人材の育成に関する事項、(4) その他、本協定の目的遂行上必要な事項、です。

神戸市の政策課題、実施施策等に関して、経済観光局との意見交換会の開催、大学人材の活用による「経済学的視点からの助言・相談」等、具体的な連携内容を設定し、連携の充実を図ります。





# 神戸大学×神戸市健康局 地域課題への取り組み



- 2024年6月1日 **医学研究科デジタルイノベーション推進センター**と協定締結
- (目的) センターと健康局が相互に連携し、科学的データに基づいた施策立案を推進することで、市民の健康増進に資する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### 自治体連携事業

2024年

神戸市健康局EBPM支援事業(包括連携協定)

神戸市健康局

神戸市健康局との包括連携協定のもと、神戸市健康局のヘルスケアデータ連携システムのデータにて新規施策提案、既存事業の評価等に資するデータ分析によりEBPM支援を行う。

神戸大学大学院医学研究科・医学部附属病院  
第3回デジタルイノベーション推進センターシンポジウム

オンライン同時開催

「健康・医療・介護データを利用したEBPMを考える  
～自治体×アカデミアの新たなチャレンジ～」

日時 2024年3月28(木) 13:00～16:35  
会場 神戸大学総合研究拠点2F コンベンションホール  
神戸市中央区港島南町7丁目4-8

神戸大学では、地域自治体と連携して医療・保健分野でのEBPM推進に取り組んでいます。本シンポジウムでは兵庫県・神戸市の担当部署トップからEBPM実践や具体的な取り組みをご紹介するとともに、EBPMの最前線でご活躍されている自治体担当者の方々の哲学・進捗への期待や課題について早速ご意見を聞かせていただくパネルディスカッションを開催します。

**プログラム**

13:00-13:05 開会挨拶 村上 卓道 神戸大学大学院医学研究科長/医学部長  
13:05-13:20 シンポジウム概要 眞庭 謙昌 神戸大学医学部附属病院長、デジタルイノベーション推進センター長

**第一部**

13:20-13:50 基調講演 直野 健 日立製作所 研究開発グループ、神戸大学大学院医学研究科 客員教授  
13:50-14:20 招待講演1 山下彌夫 兵庫県保健医療部長  
14:20-14:50 招待講演2 花田裕之 神戸市健康局長

14:50-15:00 休憩

**第二部**

15:00-16:30 パネルディスカッション  
「自治体が保有する健康・医療データの二次利用の可能性と官学連携の課題」  
モデレーター 川井孝代 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科・大学院医学研究科(兼)特命准教授  
パネリスト 崎崎久敬 神戸大学大学院医学研究科 特命准教授  
中野真理子 兵庫県福祉部 国保医療課 国保健康づくり推進班 班長  
名久井雅宏 兵庫県保健医療部 医療課企画調整班 班長  
朱 花玲 神戸市健康局 健康企画課 課長(健康データ活用担当)  
指定発言 藤本正真 兵庫県 保健医療部健康推進課

16:30-16:35 閉会挨拶 眞庭 謙昌 神戸大学医学部附属病院長、デジタルイノベーション推進センター長

参加費 無料

参加申込はこちら  
<https://forms.gle/1YzG2Vh4a2tPLTMr5>

主催 神戸大学大学院医学研究科・医学部附属病院 デジタルイノベーション推進センター  
後援 兵庫県(学連)、神戸市健康局

問い合わせ先  
神戸大学医学研究科 AI-デジタルヘルス科学科 [ai-digital@med.kobe-u.ac.jp](mailto:ai-digital@med.kobe-u.ac.jp)



# 神戸大学×灘区 地域課題への取り組み



- 2004年12月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域福祉向上、産業振興、教育・文化・スポーツの振興及び発展、人材育成、まちづくりのための連携

## 連携拠点でのさまざまな取組み

団地再生プロジェクト（鶴甲団地）  
神戸大学×公社 リノベ住宅



子育て支援施設「のびやかスペース  
あーち」（人間発達環境学研究科）



「灘・夢ナリエ2024」ワークショップ活動  
（神戸大学建築学科槻橋・浅井研究室  
と株式会社戎工務店の連携チーム＜  
TEAMNADA＞）

灘区広報啓発チーム「マリーゴールド・エンジェ  
ルス」（アメリカンフットボール部RAVENSチア  
リーダー）結成（2024年12月）



灘★こども塾への協力（2023/3/27）  
「江戸時代のくずし字読解にチャレンジ！」





# 神戸大学×灘区 地域課題への取り組み



- 2004年12月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域福祉向上、産業振興、教育・文化・スポーツの振興及び発展、人材育成、まちづくりのための連携

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 大学と連携したまちづくりチャレンジ事業補助金 (R6年度採択分) 計1,031千円

団体名	事業内容	事業責任者
灘地域活動センター (N.A.C.)	灘区内の災害復興住宅の集会所におけるふれあい喫茶の運営、戸別訪問活動	共同代表 佐伯 海斗・荒畑 由芽
障がいのある青年の生涯学習支援会 (ふおーえす)	女子会+	代表 廣兼 響子
まちプロジェクト実行委員会	まちプロジェクト'24	代表 神前 由佳
神戸大学天文研究会	なだ星まつり	会長 羽原 千就
神戸大学大学院人間発達環境学研究所	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト	アクティブエイジング研究センター長 長ヶ原 誠



### まちプロジェクト実行委員会

地域住民や学生から集めた不用品を利用したイベントを実施し、地域間や地域と学生の交流を図る



### 灘地域活動センター (N.A.C.)

地「灘区内の災害復興住宅の集会所におけるふれあい喫茶の運営、戸別訪問活動」

神戸市が地域課題の解決に取り組む地域活動の功績を称える「**地域貢献賞**」を受賞 (2025/3/25)





# 神戸大学×東灘区 地域課題への取り組み



- 2007年6月20日 **海事科学研究科**と協定締結
- (目的) 海事科学部の所在地である神戸市東灘区と連携し、それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成と地域活性化に寄与する

## 連携拠点でのさまざまな取組み

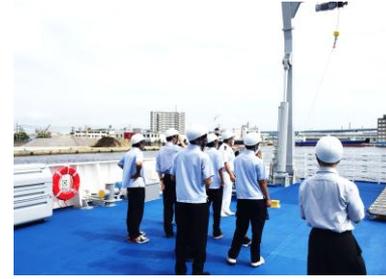


こどもいろいろ体験スクール  
防災意識向上イベント



海神丸の機能として災害時の活動支援があることを、東灘区在住者に積極的にPR

県立尼崎小田高等学校  
サイエンスリサーチ科生徒研修



附属練習船・海神丸の見学、海神丸の講義室で船長による講義、海洋観測についての体験学習、研究室見学を実施

神戸市海洋人材育成プログラム Ocean's 17 event



神戸市内の海洋産業に携わる団体と連携した高校生限定の体験型海洋イベント  
第3弾の今回は、海洋政策科学部・神戸市・川崎重工業株式会社とが連携し、「SDGs 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」をテーマに開催



海神丸お披露目式



神戸大学海事博物館夏休みワークショップ 船のおもてなし～花毛布とタオルアニマルをつくろう～ (2023/8/4)



# 神戸大学×須磨区 地域課題への取り組み



- 2008年1月9日 **保健学研究科**と協定締結
- (目的) 保健学研究科の所在地である神戸市須磨区と連携し、それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成と地域活性化に寄与する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

H19年度より、神戸市、須磨区と共同で、厚生労働省科学研究費補助金モデル事業である灘区「ぽとらっく」と連携し、須磨区にある旧神戸市立大黒小学校跡「すまいるプラザ大黒」に新たな発達支援モデル教室「すまいる・ぽとらっく」を開設。  
H22年度からは「青陽須磨支援学校」にて活動を行っています。



### 講習会プログラム

大学教員を中心とした研究者や指導者から、発達障害に関する様々なテーマについて講義を受けることができます



### 子どもプログラム

保健師、保育士、臨床心理士、作業療法士を目指す大学院生、学生、及び研修を目的とした若手保育士が、マン・ツー・マンで託児。

### 地域高齢者・認知症の方 とご家族への支援



市民および医療職者の協働による認知症予防・治療・介護に関する支援活動を行っています。大学院生等のボランティアとともに須磨区在住高齢者を対象に、①外部講師（NPO法人）による認知症に関する講演や相談会、②認知・運動機能と意欲の向上を目指した手指運動プログラム（数理・データサイエンスセンターとの共同研究）を実施しています。

### 地域の子どもの 放課後見守りボランティア



須磨区横尾子どもの居場所づくり「あさひ教室」は、地域の小学生を広く受け入れ、学習支援や遊びを通して地域の中で子どもたちの育ちを支え見守る場所。学生は学習支援の部分を担っています。計40回を11名の学生（学部生6名、大学院生5名）がシフト制で見守りボランティアとして参加し、放課後児童の学習支援を行いました。





# 神戸大学×長田区 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### 兵庫の防災・地域連携フォーラム

～阪神・淡路大震災の経験を熊本地震被災者へ伝える～

平成 30 年 2 月 9 ～ 11 日の 3 日間、約 200 名参加の中、**地域の安心・安全と大学連携「伝え、学ぶ」**の 6 つの事業を実施しました。

今回は熊本地震被災地益城町住民とともに**阪神・淡路大震災被災地の神戸市長田区（9 日）**、淡路市旧北淡町（11 日）を歩き、地元住民、学生、教員らが災害前・後のコミュニティ形成について意見を交換しました。加えて、語り部による講話と 1995 年当時の様子を**震災アプリ（長田区）**を用いることで災害の記録、伝承の必要性を再認識しました。

10 日（土）午前には神戸親和女子大学 齋本格教授の案内で布引にて断層フィールドワークを実施し、目の前に聳える断層に自然との共生の必要性を学んだ後、**都市安全研究センターオープンゼミナールを開催**しました。益城町仮設団地連合自治会の吉村静代会長からは住民による避難所自主運営の大切さや仮設住宅での生活再建の様子が伝えられ、阪神・淡路大震災の経験がどのようにその後の災害に活かされたか学ぶと同時に今も続く様々な課題が議論されました。

まとめに**北後明彦教授**より神戸大学の知見の共有と防災・減災の知見を得るため、兵庫の地域、被災地間の連携、協力団体による多様な取組の重要性が指摘されました。



長田のまちあるき



オープンゼミナール





# 神戸大学×北区 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 人文学研究科地域連携センターによる淡河地区における事業

「淡河歴史セミナー」「淡河に関する史料調査」  
「道の駅に制札解説パネル設置とパンフ配布」

神戸市指定文化財

歳田神社所蔵 羽柴秀吉制札



2003年度から、**地元および神戸市との連携事業**をおこなっています。**淡河地区**では近年、淡河城跡の近くに道の駅ができたことで、淡河城をはじめ地域の歴史に対する関心が高まっており、この地域に関わる歴史について考え、またその成果を広く発信していくことを企図して、連携事業をおこなうことになりました

### ■ 人文学研究科地域連携センターによる藍那地区における事業

「史料調査」「ため池の調査・研究」  
「地元での研究報告会の実施」

■ **大学発アーバンイノベーション神戸【人文・社会科学】事業** 「北区を中心とした神戸市域における地域所在資料の保全と活用」(R6年度～)  
(人文学研究科・井上舞特命講師)

### ■ 保健学研究科地域連携センターによるふれあいスポーツチャレンジ事業



保健学研究科は、2022年度に公益財団法人こうべ市民福祉振興協会とともに「運動を通じた障害者の居場所づくり」を目指し、神戸市北区の「しあわせの村」において「**のびのび運動ひろば**」「**水中運動ひろば**」「**中高生パラスポーツクラブ**」の三つの教室を展開しました。  
のびのび運動ひろばは好評につき、2025年も継続しています。



# 神戸大学×中央区 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 神戸元町商店街連合会との連携事業

2009年10月頃、本学の**経済学部**の教員の紹介を通して、**神戸元町商店街連合会**（みなと元町タウン協議会・会長は奈良山喬一氏）から、元町商店街の言われや西国街道と関わりについて記す、歴史モニュメント設立への協力の依頼がありました。

**人文学研究科地域連携センター**ではこれを受け、関係する研究スタッフや教員がモニュメントの文案作りに協力し、このほど「**西国街道モニュメント**」が完成・公開されました（2009年12月21日）。モニュメントの設置場所は、「こうべまちづくり会館前」（神戸市中央区元町通4丁目2-14）です。



モニュメントに記されている文章は以下の通り。

#### 西国街道と元町商店街

元町商店街が広がる地域には、江戸時代、九州と近畿地方とを結ぶ西国街道が通っており、これはほぼ現在の「元町通り」に当たると考えられます。

その当時、この道沿いには、神戸村・二ツ茶屋村・走水村という村があり、このうち神戸村・二ツ茶屋村は、18世紀前半の享保期には、兵庫津よりも多くの廻船を保有するなど、北前船をはじめとする全国海運の拠点でもありました。また19世紀半ば頃にできた「兵庫津細見図」には、街道沿いに密集する町並みが描かれています。

慶応3年12月（1868年1月1日）、神戸が開港されました。しかし開港に際して、外国人居留地の建設が間に合わなかったため、居留地周辺の神戸村・二ツ茶屋村・走水村は雑居地となり、明治元年（1868年）11月には、3村は合併して神戸町と名付けられました。その後、明治7年（1874年）5月には、大阪・神戸間の鉄道の開通に合わせて、兵庫県令により、神戸町の西国街道にあった大手町・濱町・札場町・松屋町・中町・西町・城下町・東本町・西本町・八幡町が元町通と改称されました。

これが現在の元町商店街の名の言われとなります。

協力：神戸大学大学院 人文学研究科地域連携センター



# 神戸大学×西区 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 神戸市立西神戸医療センター



### ■ R2年度大学発アーバンイノベーション神戸事業

人文学研究科・井上舞特命講師「神戸市域に所在する文書群の調査・活用・公開に関する研究」

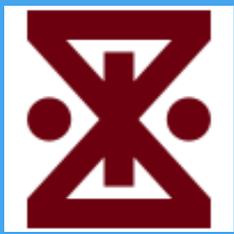
本研究では、神戸市が抱える諸課題やコロナ後の地域社会を見据えた、地域存続の基盤となる地域歴史文化継承のための実践的研究に取り組む。

具体的には、将来的に地域住民自身が地域歴史文化の担い手になってもらうことに重点を置き、①地域歴史文化の基礎となる地域歴史資料を保全すべく、神戸市北区をフィールドに、地域に所在する歴史資料の悉皆調査を実施する。②地域に残された歴史資料を用いて調査・研究に取り組み、神戸市の主要産業である酒造業や、近世以降大きく変化した中央区の景観に関する具体的な歴史像を提示する。③①・②を通して得られた学術的成果を、地域住民によりわかりやすく提示・共有する方法について検討し、神戸市の歴史文化発展へとつなげる。

# 阪神南地域での連携事業



# 神戸大学×尼崎市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み



### ■ 経済経営研究所と尼崎信用金庫との連携

経済経営研究所では、共同研究等を通じて、地方自治体、地域企業、地域金融機関、地域支援団体などとの連携を図るため、R5年4月、**地域共創研究推進センター**を設立。地域連携活動の拠点として地域の金融機関や団体との共同研究を強力に推進  
経済経営研究所と尼崎信用金庫は、R4年度より「ESG要素を考慮した事業性評価の深化を通じた地域における事業者支援体制構築の推進」に関する共同研究を実施

2024/5/13には神戸大学・尼崎信用金庫共同研究成果発表 神戸大学経済経営研究所主催 公開シンポジウム「ESG地域金融がつくる中小企業の輝く社会」を開催

### ■ 富松城歴史博物館

16世紀前半の畿内の戦乱について記述した軍記物『細川両家記』に数度にわたってあらわれ、戦国期の西摂地域における重要な軍事拠点であった**富松城**や富松地域について、広く発信することで、富松城跡の保存・活用を進めるため、富松城跡を活かすまちづくり委員会と**神戸大学文学部地域連携センター（当時）**、行政が連携して、インターネット上に仮想の博物館を作成（現在は閉鎖）



共同研究の成果の  
神戸大学出版会からの出版



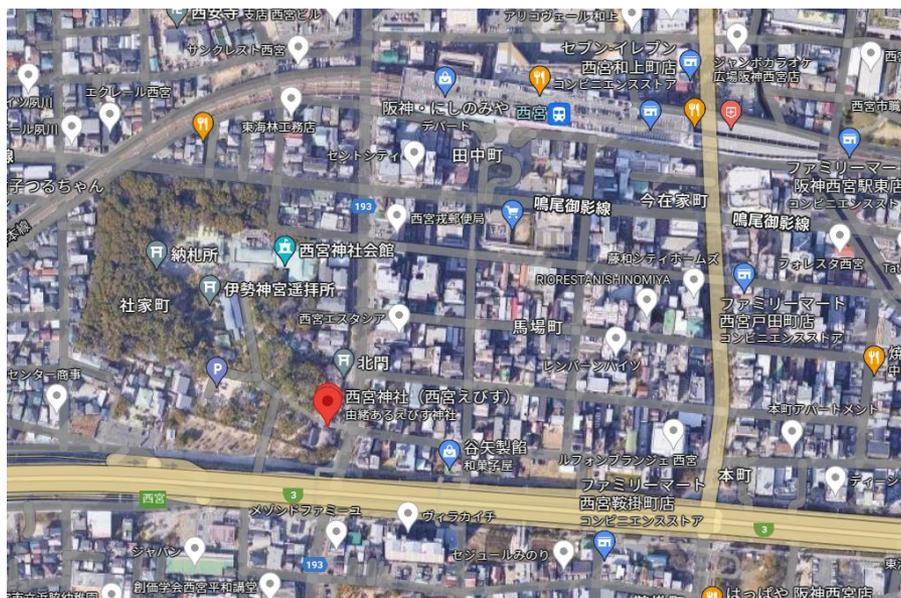
シンポジウムで開会の挨拶をされる  
作田誠司尼崎信用金庫理事長

■ 尼崎市立歴史博物館での下張りはがし講座への協力  
2017年度から**地域連携推進本部**特命教員を派遣



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 神戸大学保全生態学研究会「西宮市の天然記念物の学術調査と啓発活動」（学生地域アクションプラン採択事業）



学生が学術調査にもとづいた管理手法を提案するとともに、市民と行政・所有者の仲介役として自然観察会などの啓発活動を実施している

- 西宮市の天然記念物に指定されている社叢や樹木、湿地などについて生物学的な調査を行い、情報発信することによって、市民に天然記念物の価値を知ってもらうことで、**環境の保全と暮らしやすい社会を実現**することを目指す
- 生態調査は、**西宮市産業文化局および文化財保護委員**の指導のもと、**地域保全団体**と共同で行う
- 得られた知見を発信するため、市民観察会やシンポジウムを実施する



# 神戸大学×芦屋市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 兵庫県立芦屋高校との高大接続事業

#### 【ボランティア部】 高大接続 事業 神戸大学

◎ 2018年7月20日 ▲ 芦屋高校

2018年度 高大接続事業 神戸大学 報告

1. 日時 2018年7月18日(水) 14:00~16:30

2. 場所 神戸大学 鶴甲第2キャンパス

3. 連携 神戸大学 国際人間科学部 原田和弘 准教授

4. 内容

14:00~15:00 【講義】

- ・ 大学学部選択や大学の仕組みについて
- ・ 神戸大学での専門・研究について
- ・ 神戸大学の高齢者研究、原田先生の研究について

15:10~16:00 【発表と質疑応答】

- ・ 芦屋高校ボランティア部の活動報告とシミュレーション発表
- ・ 今年度から始めた地域の高齢者宅への訪問の発表と質問
- ・ 原田先生から高齢者の心理や健康を考慮して回答いただく



16:00~16:30 【キャンパス内見学】  
図書館・大講義室・研究室・障害者運営のカフェ等



高大接続事業で神戸大学を訪問し、まずは私たちの知らない大学の事、原田先生の紹介をしていただきました。原田先生の行なっている事の中で興味深かったものが「鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト」というものであまり繋がりなかった鶴甲の人がこのプロジェクトに約100人参加したと聞いて驚きました。11月には県政150周年のイベントがありますがどうすれば多くの人に参加していただけるかという課題はこれから必ず考えなければならないことなので参考になりました。

芦高ボランティア部の活動報告、シミュレーション発表とお宅訪問の説明をした後は私達の質問に答えていただきました。質問の答えの中で印象深かったものは高齢者の方が話す話題への反応のポイントは受容、共感、傾聴ということです。私たちが反応に困るような話題でも話す方は話したくて話しているのが敏感になりすぎず3つのポイントで会話しようと思いました。原田先生の鶴甲のプロジェクトを進めている時の話を聞いて、私たちのお宅訪問も全ての人が賛成して参加していたらいいわけではありませんが大切な取り組みだと信じて進めて行きます。

原田先生の専門外の事も質問してしまいましたが、先生としてだけでなく子供の親としての目線で答えてくださってこれからプロジェクトを進めていく上で必要な事を聞けました。ありがとうございました。2年女子

### ■ 芦屋市交通計画協議会への委員派遣 経営学研究科正司健一教授が就任

# 阪神北地域での連携事業



# 神戸大学×三田市 地域課題への取り組み



- 2024年8月9日 **全学協定締結**
- (目的) 地域振興、地域課題の解決、科学技術、産業振興、教育の推進、人材育成、地域保健医療の推進のための連携

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



署名した協定書を示す藤澤正人学長（右）と田村克也三田市長（左）

### ■ 医療系人材育成プロジェクト

医学研究科での人材育成プロジェクトを同市とともに進めるのを機に、組織的に連携を強化するため包括連携協定締結の運びとなりました。科学技術、産業振興、教育の推進、地域保健医療など多くの分野で連携・協力し、地域に貢献します。

**令和6年度医療系人材育成事業業務委託**  
(保健学研究科) (960千円)

### ■ 定例会議

R7年度より総合政策部公民連携推進課と連携活動について毎月打ち合わせを行っています。



# 神戸大学×三田市 地域課題への取り組み



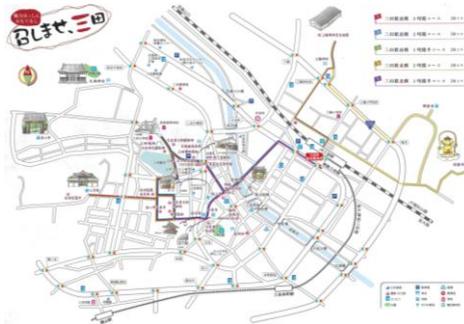
2021年7月19日 システム情報学  
研究科と協定締結

(目的) スマートシティに関する研究・教育を推進し、システム情報学の適用による三田市の地域課題の解決を通して、イノベーションの創出、課題解決人材の育成に資する

2023年3月30日 保健学研究科と協定締結

(目的) 認知症予防や介護予防などの分野において互いに協力し、市民の健康福祉の増進と神戸大学の研究発展等に寄与する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



位置情報を活用し、三田市の魅力を体感できるアプリを使ったまちのにぎわい創出をテーマにまちのブランド観光課と取り組み



<http://oyakobousai.com/>  
ほくせつ親子防災ノート/

子育て応援活動に取り組む NPO 法人ミラクルウィッシュと危機管理課のコラボレーション  
防災啓発冊子「ほくせつ親子防災ノート」をベースにしたWeb アプリ版の作成の取り組み



(左) 森哲男 三田市長  
(右) 秋末敏宏 保健学研究科長

保健学研究科では、高齢化が進む我が国で認知症の高齢者が急速に増加している背景のもと、2020年に認知症予防推進センターを設立し、「認知症予防に関する研究」と「認知症予防プログラムの普及」の相互作用の成果を通じて豊かな高齢社会づくりや地域活力の維持・向上に寄与することを目指しています。

今後、双方の資源や強みを共有し連携を深めることにより、**地域住民の認知症予防や健康づくりを目的とした臨床研究やプログラムの推進、健康寿命延伸およびウェルビーイング実現のための共同研究等を実施する予定です。**



# 神戸大学×伊丹市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み



### ■故・石川道子人文学研究科地域連携センター研究員と小西酒造とのプロジェクト「小西酒造所蔵の古文書から復元する元禄の酒」

○小西酒造創業450年の記念行事の一環として、1年ほどの準備期間をとって技術の方々と勉強会を持ち、小西新右衛門氏文書によって元禄15年（1702）に江戸へ積み出された清酒「白雪」を復刻、販売へ。

○これが契機となり、自社にこのような史料があることをはじめて知り、それを活用した酒造りができるということに興味を持たれた社員の方たちが古文書の勉強をはじめたいと、2003年「小西新右衛門氏文書」・「伊丹酒造組合文書」を中心とした勉強会がはじまり、2005年から史料を検討し、文政8年（1825）の「白雪」の再現に取り組む。

【参考文献】石川道子「地域における伝統企業の史料と活用」（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編『地域歴史遺産』の可能性』岩田書院、2013年）

▲小西酒造HPより

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■山本財産管理組合・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター・宝塚市市史資料室の協力で古絵図・古写真の展示会を企画（宝塚市山本地区～植木産業の歴史を展示）



▲山本財産管理組合所蔵の絵図



○「あいあいパーク」営業開始10年を記念して、毎年開催される「植木まつり」と同時開催で、「古絵図にみる山本村の歴史と園芸産業展」を行う

○山本は巡礼道が地域を東西に通じる古い地区。園芸業によって支えられた山本では、街道の左右とともに地域全体を草花や植木で美しく飾る努力を。古絵図に描かれている池のほとんどが残されているのもこの地域の特徴



▲「園芸報知」(花卉の通信販売誌)



▲住民の皆さんと展示準備



▲山本会館での展示（2010年4月）



# 神戸大学×川西市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■北摂里山地域循環共生圏(hokuCES)への協力 観光：都市住民や観光客の取り込み

北摂地域はもともと自然あふれる住環境であり、歴史ある神社・仏閣が多く、近年ではシェアハウスや地産地消を掲げるレストラン、パン屋、カフェ等も増えている。川西市の天然記念物である台場クヌギ林や妙見山ブナ林を抱える黒川（東谷）地区では、独立行政法人水資源機構の管理する一庫ダムや知明湖、その周囲の県立一庫公園なども観光スポットになっている。この観光資源と本提案事業の体験型学習プログラムを組み合わせることにより、より魅力ある観光コンテンツを提供できる。

同プログラムの集客には、神戸新聞社の発信力を生かす。同社は昨年度、兵庫県、神戸市、神戸大学、兵庫六甲農業協同組合、生活協同組合コープこうべ等と連携し、地域資源から得る自然エネルギー「地エネ」を生かした地域づくりを推進する「地エネと環境の地域デザイン」事業を開始した。同事業では兵庫県内の「地エネ」を活用した事例を訪問する「地エネ&農食ツアー」を手掛け、宝塚すみれ発電のソーラーシェアリング施設もその一つとなり、多くの一般市民が参加した。同社は今年度も同事業を継続し、6月に「地エネと環境の地域デザイン協議会」を発足予定である。同社担当者に本提案事業の概要を説明したところ、IGES関西研究センターも同協議会の一員となり、本提案事業をその分科会の一つとして位置付け、今後、連携していくことが合意された。これを受け、年3回予定される同協議会への参加を通じ、ほかの協議会メンバーとの連携、新聞紙上での成果の発信、本提案事業の活動の体験型学習プログラムへの集客などが期待できる。



▲北摂里山地域循環共生圏HPより

### ■川西市都市計画審議会への委員派遣 H25年度に工学研究科助教が就任

### ■川西市障害者施策新協議会への委員派遣 人間発達環境学研究科教授が就任



# 神戸大学×猪名川町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み



猪名川町中央公民館からの依頼で、2009年度と2013年度に**人文学研究科地域連携センター**のスタッフを中心とした、地域の歴史に関する**生涯学習講座（猪名川町生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」**）を行いました。それぞれ1年間、2週間に一度のペースで実施しました。内容は、猪名川町域に関する古代から近代のあゆみについての講義と、多田銀銅山など猪名川町内の歴史遺産の見学および町内の古文書を活用した実習などです。

### ■ 猪名川町の古文書を楽しむ会

古文書を楽しむ会は2016年に発足。会設立の契機は、公民館歴史講座を3期にわたり受講したメンバーが中心となって組織された。日生中央公民館で毎月第三土曜日に**人文学研究科地域連携センター**木村修二特命講師の指導のもと猪名川町域に残る古文書を中心に解読している。



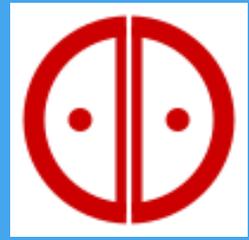
### ■ 猪名川町文化財審議会への委員派遣

2018年度から**地域連携推進本部**特命教員を派遣している

# 東播磨地域での連携事業



# 神戸大学×明石市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■「明石市における地域史料等の調査研究業務委託」事業 (人文学研究科) (2024年度4,100千円)

明石市との連携事業が始まったきっかけは、2010年7月から明石市の依頼を受けて、旧明石藩士黒田家関係の資料群の概要調査を**人文学研究科地域連携センター**がおこなったことによります。

その調査結果を明石市に提出した結果、2011年度より古文書を中心とする同資料群の詳細な調査をおこなうことを目的とする受託事業（「明石藩家老関連資料目録作成を通し、近世史の調査研究及び歴史資料の保存活用についての研究」）が本格的にはじまりました。本事業では、江戸時代のものを中心に、古文書の整理・目録を作成するとともに、分量も多く分野も多岐にわたるさまざまなモノ資料の整理もおこないました。

2012年度には、前年度までの基礎調査をうけ、さらに事業をすすめるために「明石藩士黒田家関連資料調査・補修業務委託」と題した受託事業を開始しました。この事業では、古文書などの諸資料の活用が主眼でしたが、それは2012年9月に、松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展として「**明石藩の世界**」と題する展示会の開催で実現しました。また一部の資料（美術品）については修復をおこなって、将来の活用にも備えることも進めました。

2013年度以降も古文書を中心とする黒田家旧蔵資料の調査・研究をすすめるとともに、その成果を市民へ還元すべく、活動を続けています。

現在は、**明石市史の編纂事業**を行っています（2013年度～）。



明石市立文化博物館



明石市立文化博物館

### ■神戸大学附属幼稚園・小学校・特別支援学校における活動

- ・2005年 附属幼稚園と公立幼稚園で相互人事交流を実施（附属幼稚園）
- ・2016年 特別支援学級等新任担当教員研修会を実施（附属特別支援学校）
- ・2020年 災害時における避難所としての施設使用に関する協定締結（附属小学校）



# 神戸大学×加古川市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

- 加古川市民病院機構「研究開発・臨床研究支援業務」「特定臨床研究審査意見業務」（医学部附属病院・寄附講座）



# 神戸大学×高砂市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み



『高砂市史』執筆者に神戸大学関係者

- 高砂市文化財審議会への委員派遣  
2018年度から地域連携推進本部特命教員を派遣



# 神戸大学×稲美町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 淡山疎水資料の調査

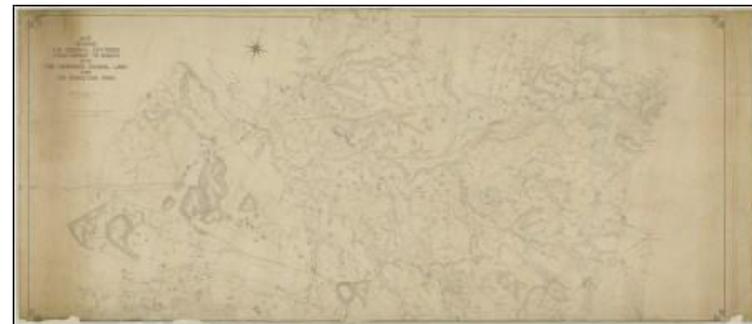
淡河川山田川疏水（淡山疎水）は、明治24年（1891）に最初の工事が完了した、4市1町（兵庫県神戸市・三木市・明石市・加古川市・稲美町）にわたる大規模な用水路です。

貴重な産業遺産として、2007年度より兵庫県教委と関係市町教委の間で淡山疎水検討会が組織され、文化財指定・登録を念頭に、詳細な調査が進められています。

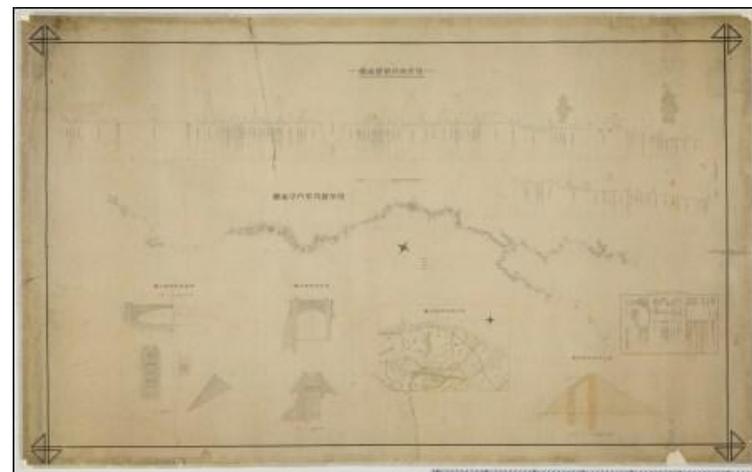
同会の要請を受け、**人文学研究科地域連携センター**は、2008年3～4月に**稲美町教委**が行った淡山土地改良区事務所所蔵資料（文書・実物資料等）の2007年度調査に、資料の調査・整理方法についてのアドバイスと、作成された資料カード・目録のチェック作業で協力しました。

### ■ 稲美町旧家の古文書調査

ため池未来研究所での交流会を契機に知り合った稲美町の旧家宅の古文書調査を行っています（地域連携推進本部）。



▲『宮ノ谷以西加古郡印南新村草谷村間平面図』（有形文化財・歴史資料）



▲『淡河川疏水線路全線縦断平面図』（有形文化財・歴史資料）



# 神戸大学×播磨町 地域課題への取り組み

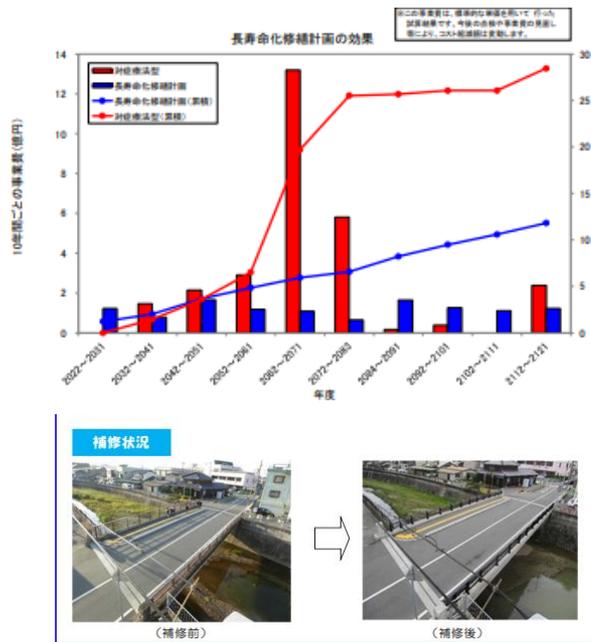


## 連携拠点でのさまざまな取り組み

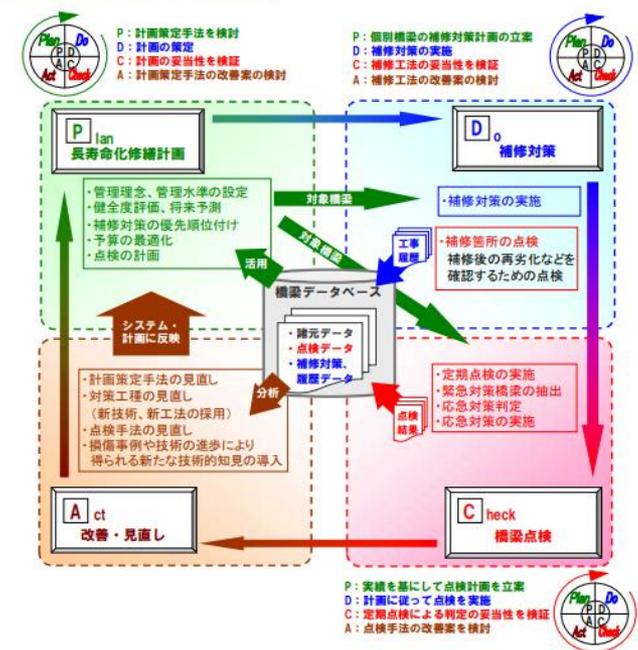
■ 橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究  
科市民工学専攻森川英典教授による指導・助言

兵庫県播磨町  
橋梁長寿命化修繕計画の概要

令和4年3月  
兵庫県播磨町土木グループ



### PDCAサイクルのイメージ



# 北播磨地域での連携事業



# 神戸大学×小野市 地域課題への取り組み



- 2005年1月26日 **全学協定締結**
- (目的) 相互の持続的な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展および大学の教育、研究に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科との「小野市域の村堂調査にかかるデータの整理と分析」「小野藩家老家伊藤文書を用いた明治初期小野市域地租改正実施過程の歴史研究」

「小野市大部地区歴史調査及び小野市市場町近藤廣家文書目録作成」事業 (2004年度300千円)

小野市立好古館との連携事業



特別展「青野原俘虜収容所の世界～河合地区の近世・近代から現代～」  
(2005/10)



特別展「太閤秀吉と河合郷～小野市河合地区の近世・近代から現代～」  
(2006/10)



『捕虜として姫路・青野原を生きる  
1914-1919 箱庭の国際社会』

大津留厚・奥村弘・長野順子著  
発行 神戸新聞総合出版センター  
2011年10月刊行  
A5判 102ページ 840円 (税込)

第一次世界大戦当時、小野市青野原にあった俘虜収容所に収容されたドイツ兵・オーストリア＝ハンガリー兵たちの日常生活や地域との交流を描く



# 神戸大学×加西市 地域課題への取り組み



- 2009年5月19日 **全学協定締結**
- (目的) 文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画

## 連携拠点でのさまざまな取組み

### ■ 食資源教育研究センターによる連携事業



かわいらしい赤紫色の目が特徴



収穫時のほりまる

地元農家・企業と連携して  
「ほりまる」を使ったコロッケづくり・販売へ

### ■ 人文学研究科による

「加西市戦争遺産資料拡充調査委託」(2004年度1,200千円)  
「soraかさい」歴史ゾーンでの展示協力



第二次世界大戦末期、滑走路の南西にあった川西航空機姫路製作所鶉野工場で組み立てられていた戦闘機「紫電改」と、パイロット養成に使用され、特攻機としても使われた「九七式艦上攻撃機」の実物大模型を解説とともに展示

姫路海軍航空隊の開隊から終戦までの4編のストーリー映像を紹介映像とともに、鶉野に関する貴重な写真や図面、実物資料も展示





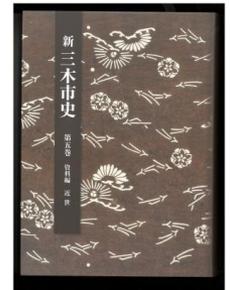
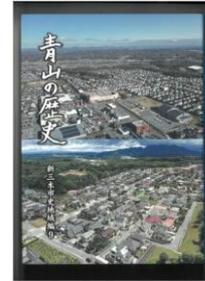
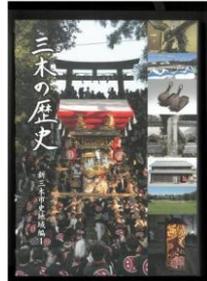
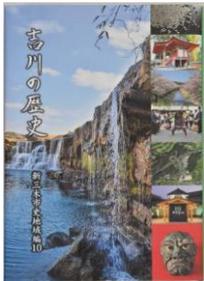
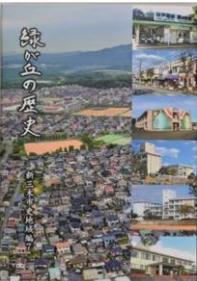
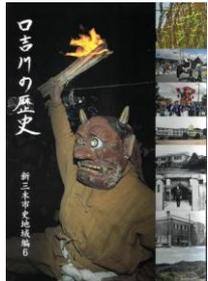
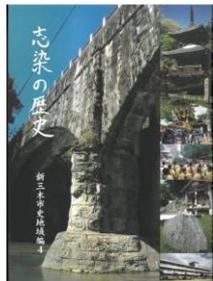
# 神戸大学×三木市 地域課題への取り組み



- 2013年6月27日 **全学協定締結**
- (目的) 相互の持続的な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成、発展および大学の教育、研究に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科地域連携センターから特命講師が出向  
 新三木市史の編纂事業 地域編・通史編・資料編の刊行  
 (8,700千円)



### 地域編

『三木の歴史』『別所の歴史』『志染の歴史』『口吉川の歴史』  
 『緑が丘の歴史』『青山の歴史』『吉川の歴史』

### 資料編

『資料編 古代・中世』  
 『資料編 近世』



# 神戸大学×小野市・三木市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### 北播磨総合医療センター



#### ■沿革

H19 神戸大学から三木市・小野市統合病院構想を提案

H20 三木市・小野市が統合病院構想に合意

H21 三木市・小野市統合病院建設協議会を設置、統合病院の基本構想・基本計画を策定

H25 北播磨総合医療センターを開院

「病理学講座／病理診断学分野／病理ネットワーク学部門」  
(医学研究科・寄附講座)



# 神戸大学×多可町 地域課題への取り組み



- 2009年7月30日 **経済学研究科**と連携協定締結
- (目的) 地域政策に関する調査や研究及びその成果の普及等において連携し協力する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 藤岡秀英ゼミ・「学生流むらづくりプロジェクト『木の家』」



2015年6月 山田錦田植え



「木の家」が建てたログハウス



2015年10月「山田錦」脱穀作業



純米酒「亜麻の舞」

2015年度は、亜麻の収穫後に、酒米「山田錦」の栽培に「無肥料・無農薬・天日干し」で挑戦し、これを「純米酒、亜麻の舞」に加工して販売を始めました

### ■ 認知症予防・健康づくりセミナー事業 (保健学研究科) (2024年度560千円)



# 神戸大学×西脇市 地域課題への取り組み



- 2015年7月31日 **人文学研究科**と連携協定締結
- (目的) 文化、教育、学術等の分野で相互に協力することにより、**地域社会の発展及び大学の教育、研究に寄与する**

## 連携拠点でのさまざまな取組み

**市立西脇小学校**（同市西脇）の木造校舎が  
国指定重要文化財に答申（2021年5月）



**足立裕司神戸大学名誉教授**が「西脇小学校校舎  
基本計画検討委員会」の委員長として、工事の中心  
的な役割を担った



調印式にあたり、増本  
浩子人文学研究科長  
（当時）が「地域を担  
う人材を育成し、西脇  
市の発展にも貢献した  
い」とあいさつ。片山象  
三西脇市長は「今後、  
連携分野を拡大し、  
地域社会の発展、教  
育力の向上につなげた  
い」と話した。

**人文学研究科地域連携センター**は、地域文化財等の研究を行い  
ました



# 神戸大学×加東市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### 兵庫県難病団体連絡協議会・兵庫県共催 第80回(難病)「医療・生活」相談会

病気や治療などの講話や日常生活に関する相談に専門家に対応します。  
日時 11月18日(日)13時～16時  
場所 コミュニティセンターおの(小野市王子町806-1)  
参加費 無料 申し込み 不要

パーキンソン病	地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 神経内科 主任科部長 石原広之さん
リハビリ相談	加古川中央市民病院 リハビリテーション室 理学療法士 平瀬智さん 作業療法士 西畑永人さん
腎臓病	医療法人社団栄栄会 栄栄会小野病院 名誉院長 門脇誠三さん
就労・生活・福祉・ 介護相談	就労相談 北播磨障害者就業・生活支援センター 福祉相談 小野市 社会福祉課 介護相談 小野市 高齢介護課 生活相談 加東健康福祉事務所
歯科相談	小野加東歯科医師会
神経系疾患 (ALS・脊髄小脳変性 症・多系統萎縮症・重 症筋無力症・筋ジス トロフィー他)	独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院 副院長 舟川裕さん
心臓病	神戸大学大学院 医学研究科循環器内科学分野 講師 田中秀和さん
後縦靭帯骨化症	独立行政法人 労働者健康安全機構 神戸労災病院 整形外科 副部長 金山修一さん
免疫系疾患 (膠原病・リウマチ・ ベーチェット病ほか)	神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科 助教 大西輝さん
肝臓病	神戸大学医学部附属病院 消化器内科 講師 矢野嘉彦さん
潰瘍性大腸炎・クロー ン病	兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門 助教 上小鶴孝二さん

兵庫県難病団体連絡協議会 ☎078-322-1878  
加東健康福祉事務所地域保健課 ☎42-5111(代表)

兵庫県難病団体連絡協議会・兵庫県共催

### 第86回(難病)「医療・生活」相談会

難病に悩まれている方を対象にした相談会を開催します。この相談会では、各病気の専門の先生をお招きし、病  
気や治療等の講話や、日常生活に関する相談に対応いたします。

- 日時 11月28日(日) 13時～15時
  - 場所 三木市立市民活動センター(三木市末広1丁目6-46)
  - 参加費 無料
  - 申込先 加東健康福祉事務所地域保健課
  - 申込方法 電話、またはFAX  
※FAXで申し込まれる場合は、①住所、②氏名(複数人参加される場合は全員分)、③電話番号、④希  
望するブース名、⑤参加人数(複数人参加の場合のみ)をご記入のうえ、お申し込みください。
  - 申込期限 11月22日(月)
- 対象となる疾患、相談場所、講師等は下表のとおりです。



ブース名	定員	講師
免疫系疾患 (膠原病・リウマチ・ベーチェット病等)	15	三浦クリニック 副院長 三浦孝子
網膜色素変性症	12	しだ眼科クリニック 院長 穴田克己
腎臓病	35	きたうらクリニック 院長 北浦圭介
心臓病	10	加古川中央市民病院 心臓血管外科 科長 圓尾文子
潰瘍性大腸炎・クローン病	12	兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患内科 助教 佐藤寿行
血液疾患	10	兵庫医科大学病院 血液内科 助教 徳川多津子
肝臓病	25	神戸大学付属病院 消化器内科 講師 矢野嘉彦
神経系疾患 (ALS・筋無力症・脊髄小脳変性症等)	15	兵庫中央病院 脳神経内科 診療部長 二村直伸
パーキンソン病	50	三田高原病院 脳神経内科 医長 舟川裕
生活・保健相談	10	加東健康福祉事務所 地域保健課 保健師 健康管理課 管理栄養士

加東健康福祉事務所地域保健課 ☎42-9427 FAX42-4050  
兵庫県難病団体連絡協議会 ☎078-322-1878

広報かとうR3年10月号より

広報かとうH30年11月号より



加東警察署からのお知らせ  
加東警察署 ☎42-0110

### サイバーセキュリティ eラーニングシステム

サイバー攻撃の被害にあわないためには、  
日頃からサイバーセキュリティ意識を高め  
ておく必要があります。

県警察は、**神戸大学**との共同開発により、  
サイバーセキュリティなどについて学習で  
きる「サイバーセキュリティeラーニングシ  
ステム」を開発しました。

県警察ホームページに掲載していますの  
で、ぜひ、ご活用ください。

※本システムはパソコンでの利用を想定し  
ているため、タブレットやスマートフォン  
等からアクセスした場合、正常に動作しな  
い場合があります。

兵庫県警 eラーニング

[https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/  
seikatu/cyber\\_defense/index4.htm](https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/seikatu/cyber_defense/index4.htm)

広報かとうR3年11月号より

# 中播磨地域での連携事業



# 神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み



- 2025年3月17日 **全学協定締結**
- (目的) 相互の包括的かつ持続的な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与すること

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



署名した協定書を示す藤澤正人学長（左）と清元秀泰姫路市長（右）



### ■ 県立はりま姫路総合医療センターでの臨床研究支援専門員養成（2025年～）

兵庫県立はりま姫路総合医療センター内に研究拠点を設置し、同医療機関を実習の場として臨床研究支援専門員養成する。

新たな薬剤や医療機器の開発には、その有効性と安全性を臨床の現場で証明、確認する臨床研究が必須である。兵庫県立大学が姫路市に先端医療工学研究所を設置し、医療の効率化や安全性の向上を目指した新しい医療機器の開発を姫路エリアの民間企業とともに目指しているが、これらの社会実装においても、病院での臨床研究を通じた有用性と安全性の検証が必須となる。

このため、姫路エリアの産業界の医療への参入を後押しするためにも、地域の臨床研究を活発化していくことは重要である。



# 神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■『香寺町史』村の歴史（通史資料編）の編纂事業

「村の歴史」は、歴史を専門とする研究者を中心に執筆。内容は、考古・古代・中世・近世・近現代・民俗からなる。

「村の記憶」（地域編）は特色ある自治体史であると同時に、地域の歴史文化を地域の方々自らが研究して町づくりに活かしていく方向性を持ったものであり、**人文学研究科地域連携センター**の事業の柱の一つである「自治体・地域住民と連携した新たな自治体史編纂や地域歴史博物館形成事業」と密接な関係がある



### ■姫路市「ひめじ防災マイスター認定制度」への講師派遣 2024年度から地域連携推進本部特命教員を派遣

### 『香寺ハーブガーデンでのハーブソルト開発プロジェクト

2017年11月から始まった、姫路市夢前町山之内地区の地域活性化プロジェクト。

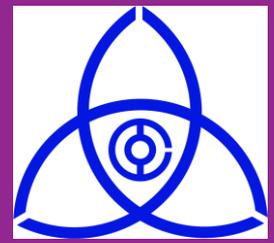
人口減少が激しく、限界集落に近づいているこの地域を盛り上げたい。山之内地区に工場を構える香寺ハーブ・ガーデンとタッグを組み神戸大学の学生たちが立ち上がりました。2年半もの歳月をかけてフィールドワークや試作を繰り返し、ようやく生まれたハーブソルト「神大ふるふる」。山之内地区の新しいシンボルになることを願っています。

神戸大学と香寺ハーブ・ガーデンによる、  
山之内地区地域活性化プロジェクト





# 神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み

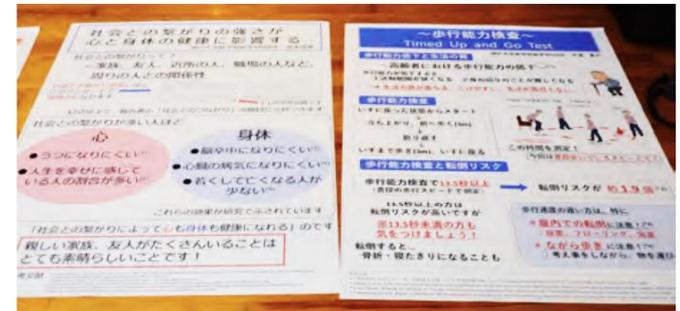


## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 医学研究科地域医療活性化センターと経済学研究科による「夢前花街道事業と加点式 健診事業の連携による地域活性化実践研究（地域連携推進室・学内公募事業に採択）」

2018年2月に**夢前花街道事業実行委員会**が組織され、「健康増進のまちづくり」を行うことに。夢前花街道事業は、香寺ハーブガーデンの福岡譲一社長が旗振り役。社会システムイノベーションセンター（経済学研究科）の藤岡秀英教授が、医学研究科地域医療活性化センターの岡山雅信教授らを招いて、岡山教授が住民を対象に、採血等をしない、医師免許がなくても誰でもできる「問診票」中心の健診を考案。

この「**加点式健診事業（よいとこ健診）**」は、既存の様々な健診票を参考にした問診票で、既存の様々な健診票を参考にし、家族、職業、運動量、人付き合いなどから健康や活動、心の状態を尋ね、良い部分を見つけ出し、学生が面談し、その結果をもとに、健康にプラスの効果をもたらす部分をとにかくほめてあげるという方法。

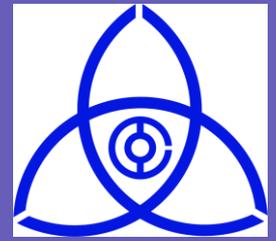


### ■ 姫路市大学発まちづくり研究助成事業（姫路市政策局高等教育室） R5:1,950千円 R6:1,750千円

年度	研究グループ名	研究テーマ	事業責任者	採択金額（千円）
R5	森林資源学研究室	スギ人工林の再造林・広葉樹林化に関する研究	農学研究科 教授 石井 弘明	400
R5	神戸大学promis地域連携センター（国際誘客研究グループ）	留学生・短期交流学生のモニターツアーに基づく国際誘客の基礎調査	国際文化学研究所 教授 井上 弘貴	550
R5	よいとこ健診研究会	よいとこ健診が地域コミュニティにもたらす効果	経済学研究科 教授 藤岡 秀英	1,000
R6	森林資源学研究室	スギ人工林の再造林・広葉樹林化に関する研究	農学研究科 教授 石井 弘明	500
R6	AI・デジタルヘルス科学分野	HEARTSデータ等を用いた播磨姫路圏域における救急医療の実態把握	医学研究科 特命准教授 姉崎 久敬	1,250



# 神戸大学×姫路市 地域課題への取り組み



- 2023年3月22日 **国際文化化学研究科と連携協定締結**
- (目的) 相互の連携により、**地域文化の振興と地域社会の国際化を促進すること**

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



地域連携の協定書を交わした清元秀泰姫路市長と藤濤文子神戸大学国際文化化学研究科長

### ■ 姫路市でフィールドスタディ (2023/1/28)

国際文化化学研究推進インスティテュート (Promis) 地域連携センターは、国際人間科学部グローバル文化学科と共同で、1月28日に姫路市でフィールドスタディを行いました。国際文化化学研究科 (国際人間科学部)、地域連携推進本部、SDGs推進本部の教職員と学生約30名のほか、神姫バスおよび姫路観光コンベンションビューロー (DMO) から8名の職員が参加してくださいました。

DMO職員の案内のもと、商業施設やホテルが立ち並ぶ姫路駅前や商店街のまち歩きをした後、市民会館で学生たちが姫路の観光振興についてプレゼンを行ない、神姫バスや姫路DMOの方々との意見交換を行いました。





# 神戸大学×神河町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 公立神崎総合病院との医療連携



神河町長令和3年1月のメッセージ（1月1日放送）より

公立神崎総合病院の医師派遣で大変お世話になっています神戸大学医学部において、藤澤正人同大学大学院医学研究科長が、手術支援ロボット「hinotori（ヒノトリ）」の研究・開発とともに、初めての手術を執刀され、成功されました。神戸大学には神河町として、この間、寄附講座など支援を行ってきました。国産初、神戸発の手術支援ロボット「hinotori」が開発され、運用が始まることは、コロナ禍で暗い話題が多いなか、とてもうれしく思いました。今後の活躍を大いに期待するとともに、引き続きの支援と、神戸大学と公立神崎総合病院との連携強化に努めてまいります。

**「外科系講座／リハビリテーション機能回復学分野」（医学研究科・寄附講座）**

### ■ 中村自治会文書の調査



人文学研究科地域連携センターメンバーと地域連携推進室メンバーで、地元住民の協力を得て中村ドリームホーム内の中村自治会文書を調査



# 神戸大学×市川町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 屋形自治会文書の調査



人文学研究科地域連携センターメンバーと地域連携推進室メンバーで、市川町の古文書を読む会メンバーと共同で、屋形公民館内の古文書の再調査を行う

その後、同村を支配した福本藩領、旗本屋形池田領の研究に進展



# 神戸大学×福崎町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科地域連携センターでは、平成21年度より「**辻川界隈の地域歴史遺産掘り起こし及び三木家住宅の活用基本構想作成**」と題する共同研究を福崎町と開始



■ 「三木家住宅資料調査」「福崎町の地域歴史遺産掘り起こし」事業  
(2004年度800千円、1,200千円)

**三木家**は、明暦元年（1655）、飾万津（飾磨）から福崎町辻川の地に移り住み、**姫路藩の大庄屋**として地域の政治と文化の中心的存在となってきました。

福崎町出身である、'民俗学の父'柳田國男との縁も深く、1972年に三木家住宅が**兵庫県指定文化財**となり、その後、2004年に町有化され福崎町の財産として、地域づくりの中心となっています。

# 西播磨地域での連携事業



# 神戸大学×相生市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科市民工学専攻森川英典教授による指導・助言

兵庫県相生市  
道路橋長寿命化修繕計画の概要



令和3年2月  
相生市建設農林部都市整備課

■ 相生高校と神戸大学留学生との交流会  
(大学教育推進機構 グローバル教育センター)

### 特色ある学校行事

“Passport to the World”を掲げ、**神戸大学**にて留学生との交流会を行っています。また、相学生フォーラムでの弁論や全校読書会など、創立当初から本校が独自で行っている行事もあります。さらにEnglish Dayと銘打って多くのALTと交流する行事も実施しています。



神戸大学留学生との交流会



相学生フォーラム



English Day



### 12/8 日本古来のお米に触れる

認定こども園どんぐりの家で**神戸大学**名誉教授の保田先生の「ごはん塾」がありました。県内の幼稚園と保育園で10園が選ばれる同事業に3回目の応募で当選。68人の園児たちは、薪割り<sup>きりこぎ</sup>と火ふきを体験し、12升約150人分の「コウノトリ<sup>こうのとり</sup>育むお米(無農薬)」を炊き上げました。松本真桜ちゃんは、「おいしくておかわりしたよ」と満面の笑みでした。



# 神戸大学×たつの市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■『播磨新宮町史』史料編編纂事業

#### 播磨新宮町史 史料編 I 古代・中世・近世

新宮町史編集専門委員会編  
発行 兵庫県新宮町  
2005年9月刊行  
B5判 803ページ 5000円



#### 播磨新宮町史 史料編II 近現代

新宮町史編集委員会編  
発行 兵庫県新宮町  
2004年3月刊行  
B5判 732ページ



### ■神戸大学近世地域史研究会の開催

播磨新宮町史刊行後も、地域歴史遺産としての史資料を住民が利活用できるような環境作りに向けて、**人文学研究科地域連携センター**では様々な取り組みを行っています。  
近世史部会では**神戸大学近世地域史研究会**を立ち上げ、研究を継続（現在中止）



ハイブリッド形式で行われている  
**神戸大学近世地域史研究会**  
の例会の様子

■たつの市文化財保存活用地域計画委員会への委員派遣  
2024年度から**地域連携推進本部**特命教員を派遣



# 神戸大学×赤穂市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 神戸大学大学院地域医療教育学部門 地域医療夏期セミナー2024 in ひょうご

#### 地域医療夏季セミナー2024 in ひょうご

神戸大学医学部附属地域医療活性化センター 兵庫県地域医療支援センター 他各地域

- 第1日程 令和6年7月30日（火）～31日（水）
- 第2日程 令和6年8月7日（水）～8日（木）
- 第3日程 令和6年8月22日（木）～23日（金）
- 実習報告会 令和6年8月24日（土）

学生が現地訪問実習を行いました。第1期は21名が神河町、姫路市、豊岡・朝来市へ、第2期は45名が新温泉町、赤穂市、養父市へ、第3期は56名が香美町・宍粟市、西脇市、丹波市へ、各地域に分かれて訪れ、先輩養成医や住民との交流・意見交換などのプログラムを体験しました。

後日、学習成果をまとめるためのグループワークを行い、発表会にて地域医療の現場で学んだ成果を発表。地域医療が担う役割、課題について意見を共有しました。



<b>対象者</b>	地域医療に興味を持つ医学生	<b>申込方法</b>	以下の内容をご記入の上、メールでお申込みください。 ①氏名 ②連絡先メールアドレス ③携帯電話番号 ④所属:大学名(学年) ⑤参加希望日程
<b>定員</b>	130名 (定員に達し次第締めさせていただきます。)	<b>メールタイトル</b>	地域医療夏季セミナー2024 in ひょうご 参加申込
<b>主催</b>	神戸大学大学院地域医療教育学部門・兵庫県地域医療支援センター	<b>メール宛先</b>	dcm@med.kobe-u.ac.jp
<b>共催</b>	新温泉町・香美町・豊岡市・朝来市・養父市・丹波市・西脇市・神河町 宍粟市・赤穂市・姫路市	<b>締切</b>	6月30日(日)
<b>実施日程</b>	7月30-31日……豊岡市(公立豊岡病院・市民医療センター、日高クリニック) 朝来市(朝来総合センター) 神河町(神河総合病院) 姫路市(はりま医療総合医療センター)		
	8月7-8日……赤穂市(赤穂市市民病院) 養父市(公立八尾病院) 新温泉町(公立新温泉病院)		
	8月22-23日……西脇市(西脇市立西脇病院) 香美町(公立香美病院)		
	宍粟市(公立宍粟総合病院) 丹波市(南立丹波医療センター)		



# 神戸大学×宍粟市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 2009年台風9号被災文化財レスキュー事業（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、宍粟市教育委員会との連携）



▲ 雨水に浸かった絵図を乾燥



▲ 絵図の修復が完了。区長・史料ネットメンバーと記念撮影



▲ 関賀自治会文書の現地説明会・展示会  
水損した書類筆筒や絵図をはじめ、区有文書の一部、水害の様子を写した写真を地域の方々と協力し展示  
古文書の内容は地域連携センターメンバーが解説



■ 宍粟市文化財保存活用地域計画委員会への委員派遣

2023年度から地域連携推進本部特命教員を派遣

■ 神戸大学大学院地域医療教育学部門  
地域医療夏期セミナー2024 in ひょうご

令和6年  
**地域医療**  
2024 in ひょうご  
**夏季セミナー**

7月 30日(水) 8月 7日(木) 8月 22日(土)

対象者 地域医療に興味を持つ医学生  
定員 130名 (定員に達し次第、募集を中止させていただきます。)

主催 神戸大学大学院地域医療教育学部門・兵庫県地域医療連携センター

共催 新温泉町・赤穂市・姫路市・養父市・丹波市・西脇市・神河町・丹波市・丹波市・丹波市

実施日程  
7月30-31日 一日研修(山崎病院、山崎病院、山崎病院) 新温泉町(山崎病院)  
8月7-8日 二日研修(山崎病院、山崎病院) 丹波市(山崎病院) 西脇市(山崎病院)  
8月22-23日 三日研修(山崎病院、山崎病院) 丹波市(山崎病院) 西脇市(山崎病院)

申込方法  
①氏名 ②連絡先メールアドレス  
③所属電話番号  
④所属(大学名(学年)) ⑤参加希望日程

メール申込み  
地域医療連携センター2024 in ひょうご 参加申込  
メールアドレス  
med.educ@med.kobe-u.ac.jp

申込期間  
2024年6月30日(日) 23時59分59秒まで

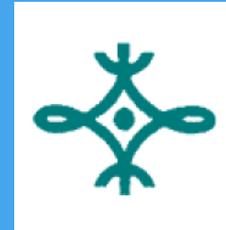
申込 6月30日(日)

神戸大学大学院医学研究科 652-0032 神戸市兵庫区有田町2丁目1-5  
医学教育学分野 地域医療教育学部門 tel.078-382-6732 / fax.078-382-6283  
https://www.med.kobe-u.ac.jp/dcmf/

学生が現地訪問実習を行いました。第1期は21名が神河町、姫路市、豊岡・朝来市へ、第2期は45名が新温泉町、赤穂市、養父市へ、第3期は56名が香美町・宍粟市、西脇市、丹波市へ、各地域に分かれて訪れ、先輩養成医や住民との交流・意見交換などのプログラムを体験しました。後日、学習成果をまとめるためのグループワークを行い、発表会にて地域医療の現場で学んだ成果を発表。地域医療が担う役割、課題について意見を共有しました。



# 神戸大学×太子町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科市民工学専攻森川英典教授による指導・助言

兵庫県太子町  
橋梁個別設計画  
(長寿命化修繕計画)



令和4年12月  
兵庫県太子町 経済建設部 まちづくり課

### ①老朽化対策における基本方針

#### a) 長寿命化修繕計画の目的

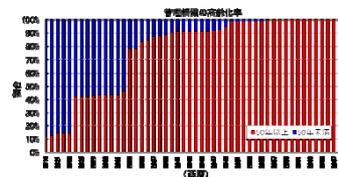
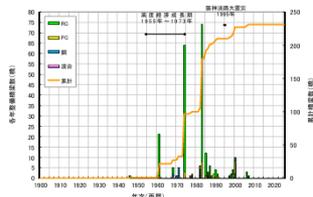
##### (1) 背景

○太子町が管理する橋梁のうち橋長2m以上の橋梁は、現在177橋(231橋)<sup>a)</sup>である。  
 ○これら橋梁のうち建設から50年を経過する高齢化橋梁は、2019年で18橋であるが、今後20年後には119橋、約64%となり、急速に高齢化橋梁が増大する。

※：構造年代の概算値である。以下の割合は構造年代の概算値による。

##### (2) 目的

○このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに対応するため、計画的な補修が可能となるよう適切な予算計画を行い、安全性の確保とコスト削減を図る。



#### b) 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	町道1線	町道2線	その他	合計
全管理橋梁数	20	17	140	177
本計画の対象橋梁数	20	17	140	177
102%計画橋梁数	1	4	0	11

○長寿命化修繕計画の対象橋梁:太子町が管理する全橋梁

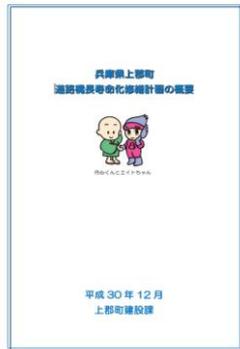


# 神戸大学×上郡町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、工学研究科市民工学専攻森川英典教授による指導・助言



	町道1線	町道2線	その他	合計
管理橋梁数	28	46	241	315
うち計画策定を行う橋梁数	28	46	241	315
うちこれまでの計画策定橋梁数	9	23	171	203
うちH30計画策定橋梁数	28	46	241	315

○長寿命化修繕計画の対象橋梁:上郡町が管理する全橋梁  
※ 判定区分: 橋の健全性を示す指標。  
I~IVの4段階で表示し、I:健全、II:予防保全段

■ R6年度より国際文化科学研究科地域連携センター板倉史明教授・辛島理人准教授による調査を開始

【上郡町合併70周年記念事業】昭和の風景を未来に残そう



■ 地域連携推進本部メンバーが上郡町を訪問、農業・歴史文化・ボランティア等について意見交換（2024/2/21）



上郡町合併70周年を記念して、皆さんから預かった映像の中から、上郡町の過去と未来をつなぐような映像を選定し、調査・クリーニングを行った後、デジタル化して上映会などを実施する予定です。

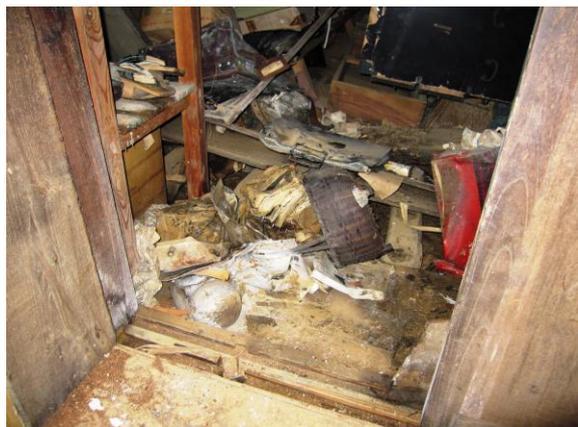


# 神戸大学×佐用町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 2009年台風9号被災文化財レスキュー事業（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、佐用町教育委員会、佐用郡地域史研究会との連携）



人文学研究科地域連携センターメンバーによるレスキューと修復



佐用町教育委員会、佐用郡地域史研究会メンバーと共同で被災資料整理



展示会や講演会・WSで成果を地元に戻元（2010年5月、於兵庫県立歴史博物館）

# 但馬地域での連携事業



# 神戸大学×朝来市 地域課題への取り組み



- 2005年3月23日 **全学協定締結**（当時：朝来郡生野町）
- （目的）文化・教育及び学術の分野で援助・協力し、生涯学習等に関する諸課題や文化遺産を活用した地域との連携事業について協同で研究等に参画する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■「朝来市関連の古文書及び歴史調査に係る指導助言」（人文学研究科）（2024年度500千円）



生野書院

人文学研究科教員が、地元の「古文書初級教室」と連携し、生野書院で保管されている古文書の整理や解説、古文書講座開催や生野書院での展示の形で成果を還元（2003～）



生野銀山



国際文化学研究科板倉史明教授、人文学研究科が協力し、生野銀山を含めた生野町のPR動画シナリオを作成（2022）

「よさぶろう」と「いくのん」



生野の町並み





# 神戸大学×豊岡市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ **2004年台風23号被災文化財レスキュー事業**（人文学研究科地域連携センター、歴史資料ネットワーク、兵庫県教育委員会・豊岡市教育委員会・神戸市教育委員会、但馬史研究会との連携）



泥水で被災した古文書



文学部学生による修復

■ **兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業**（地域連携公募事業）



医師不足地域の県立高校では、地域の医療を支える人材を育成することを目的として「医療系人材養成プログラム」が実施されている。地元の医療現場を訪れ、講演や見学を通して業務に触れるとともに、倫理観、コミュニケーション能力などを学び、医療系職種を目指す若者を奨励することを目指している。

神戸大学は、兵庫県教育委員会と協定書を交わしてこのプログラムと連携する形で「**兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業**」を行うこととなった。令和元年度に先行事業を実施したところ、関係者に好評で成果が得られたことから、令和2年度より正式事業を開始した。

豊岡高校などの高校生が医学部や同附属病院の医療現場や研究室などを見学・体験することで医療・医学に対する興味と関心を喚起し、目的意識を持って医療系職種を目指す人材を育成するための諸活動を行なった。

■ **豊岡市「外国人住民に関する調査研究」「多文化共生推進に関する共同研究」事業**（人文学研究科）  
（2024年度513千円）

図3. 地区別外国人住民数



■ **神戸大学児童文化研究会「どうけん夏合宿」**



豊岡市の豊岡駅前にあるAityにて人形劇と手遊びを行いました。（2023/8/18）



# 神戸大学×養父市 地域課題への取り組み



- 2023年7月25日 **経済学研究科**と連携協定締結
  - 人口減少下における農業振興及び地域の課題解決に資する共同研究の推進
  - 地域・社会に貢献できる人材の育成



(左)広瀬栄 養父市長 (右)宮尾龍蔵 経済学研究科長

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



■ 農業特区・養父市における持続可能な農業・農村のための価値創造に関する研究  
(経済学研究科) (2024年度1,000千円)

経済学研究科の衣笠智子教授と養父市との共同研究をきっかけに、衣笠教授を中心に進めている「『農業特区』養父市における持続可能な農業・農村の発展に関する研究」等をさらに発展させるものです。

今後は、国家戦略特区の効果や人口減少下における農業振興及び地域の課題解決に資する研究を官学一体となって積極的に取り組み、また、相互の人的・知的資源の交流及び活用を図り、人材育成や学術の振興の推進を図ります。



## ■ 公立八鹿病院との医療連携



「外科学講座／低侵襲外科学分野」  
(医学研究科・寄附講座)



# 神戸大学×香美町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 人文学研究科地域連携センターが園田学園女子大学と連携し無住化集落の古文書調査、民俗調査写真の修復



熱田地区の民俗事例  
を撮影した写真

■ 神戸大学児童文化研究会「どうけん夏合宿」



香美町立長井小学校を訪問、人形劇から始まり、運動、工作、縁日、水鉄砲と様々な遊びを子どもたちと行い、どれも子どもたちから大変に好評で、とても素晴らしい会になりました。(2023/8/17)



# 神戸大学×新温泉町 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 神戸大学大学院地域医療教育学部門

地域医療夏期セミナー2024 in ひょうご

### 地域医療夏季セミナー2024 in ひょうご

神戸大学医学部附属地域医療活性化センター 兵庫県地域医療支援センター 他各  
地域

第1日程 令和6年7月30日(火)～31日(水)

第2日程 令和6年8月7日(水)～8日(木)

第3日程 令和6年8月22日(木)～23日(金)

実習報告会 令和6年8月24日(土)

学生が現地訪問実習を行いました。第1期は21名が神河町、姫路市、豊岡・朝来市へ、第2期は45名が新温泉町、赤穂市、養父市へ、第3期は56名が香美町・宍粟市、西脇市、丹波市へ、各地域に分かれて訪れ、先輩養成医や住民との交流・意見交換などのプログラムを体験しました。後日、学習成果をまとめるためのグループワークを行い、発表会にて地域医療の現場で学んだ成果を発表。地域医療が担う役割、課題について意見を共有しました。

### ■ 認知症予防・健康づくりセミナー事業 (保健学研究科) (2024年度260千円)



令和6年  
**地域医療**  
2024 in ひょうご  
**夏季セミナー**

7月 30日 31日 / 8月 7日 8日 / 8月 22日 23日  
tue wed wed thu thu fri



<b>対象者</b>	地域医療に興味を持つ医学生	<b>申込方法</b>	以下の内容をご記入の上、メールでお申込みください。
<b>定員</b>	130名 (定員に達し次第締め切らせていただきます。)	①氏名 ②連絡先メールアドレス	
<b>主催</b>	神戸大学大学院地域医療教育学部門・兵庫県地域医療支援センター	③携帯電話番号	
<b>共催</b>	新温泉町・香美町・豊岡市・朝来市・養父市・丹波市・西脇市・神河町 宍粟市・赤穂市・姫路市	④所属・大学名(学年) ⑤参加希望日程	
<b>実施日程</b>	7月30-31日……豊岡市(公立豊岡病院、出石医療センター)、日高クリニック、朝来市(徳島医療センター)、 神河町(神河総合病院)、姫路市(徳島医療支援センター)	⑥メールタイトル	
	8月7-8日……赤穂市(赤穂市民病院)、養父市(公立八尾病院)、新温泉町(公立新温泉病院)	地域医療夏季セミナー2024 in ひょうご 参加申込	
	8月22-23日……西脇市(西脇市立西脇病院)、香美町(公立香住病院)	⑦メール宛先	
	宍粟市(公立宍粟総合病院)、丹波市(公立丹波総合センター)	dcme@med.kobe-u.ac.jp	
		※参加費はご負担いたしません。 ※参加費はご負担いたしません。 ※参加費はご負担いたしません。	
		<b>締切</b> 6月30日(日)	



神戸大学大学院医学研究科  
医学教育学分野 地域医療教育学部門

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-15  
tel.078-382-6732 / fax.078-382-6283  
https://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/

# 丹波地域での連携事業



# 神戸大学×丹波篠山市 地域課題への取り組み



- 2010年8月30日 **全学協定締結**
  - (目的) 長年にわたり培ってきた信頼関係と連携・協力実績を基盤とし、さらなる地域の活性化と発展に向けて連携・協力する
- ## 連携拠点でのさまざまな取り組み

### ■ 丹波篠山フィールドステーション

2006年に開設

「食農コープ教育プログラム」、地域おこし協力隊や丹波篠山市の産官学連携の活動・研究拠点



### ■ (一社) 丹波篠山キャピタル

2022年に設立

(前身のEKILAB.は2016年創立)  
神戸大学と丹波篠山市の官学連携事業に端を発し、地域課題を解決するために人材育成や人材プラットフォームの形成、調査研究を行う一般社団法人

### ■ 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーション・ラボ

2016年に開設

地域に根差したビジネスづくり(起業・継業)、地域での挑戦的な取り組み支援、人材育成に取り組む。



### ■ 篠山・神戸地域連携プログラム

(農学研究科) (2024年度7,150千円)

#### にしき恋

西紀南地区で、農業ボランティアや地域交流などの活動を行っている団体。農学部での授業「実践農学入門」を契機に2013年結成  
「食と農林漁業大学生アワード2019」にて、神戸大学の地域密着型サークル「にしき恋」が、最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞



### ■ 丹波篠山市における市史編さん事業 (2024年度7,400千円)

丹波篠山市史編さん事業を円滑に推進するため、令和2年8月に丹波篠山市史編さん委員会を設置。委員会では、市史編さんの方針・計画等の重要事項に関することや、市史編さんに必要な資料の調査・収集・研究・執筆・編集・刊行等に関することなどについて審議。



# 神戸大学×丹波市 地域課題への取り組み

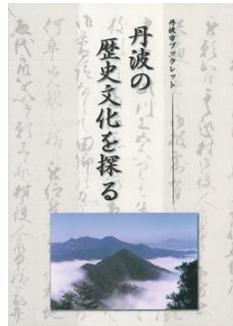


- 2007年8月24日 **人文学研究科**と協定締結
- (目的) 丹波市域の歴史文化遺産の調査・研究・保全と、それらの活用による地域の活性化に寄与する

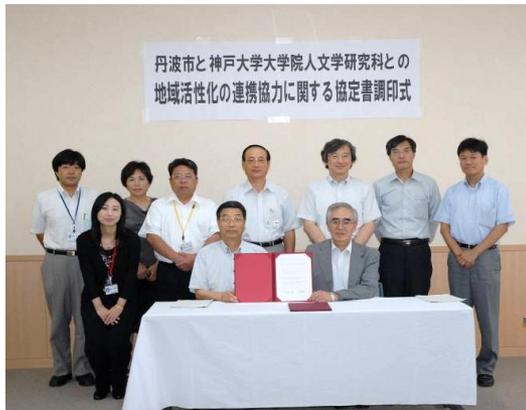
- 2020年8月11日 **保健学研究科**と協定締結
- (目的) 経済産業省と日本医療開発研究機構 (AMED) が中心となった認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業に採択され実施する

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

- 丹波市を中心とした地域歴史遺産 (古文書等) の調査 (2006～) (2024年度1,870千円)



丹波市教育委員会・神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編  
2011年刊



協定調印式 (2007年)

- 保健学研究科「認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業」



協定締結式 (2020年)

- 医学部附属病院「地域医療循環型人材育成プログラム」 (2024年度64,800千円)



# 淡路地域での連携事業



# 神戸大学×南あわじ市 地域課題への取り組み



- 2009年6月26日 **国際文化学研究科**との協定締結
- (目的) 「大学の知」と南あわじ市の「地方文化の智」が出会う  
共同の研究と教育の実践の場を作り、地域の国際化や地域文化の  
発展、国内外への地域文化発信などの課題に共同で取り組むこと

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



淡路人形座客席

**国際文化学研究科**が、淡路人形座と連携し、人形浄瑠璃を通じた交流事業を行う。フィールドワークの一環として留学生が現地で体験学習を行ったり、淡路人形座のウェブサイトの英語版作成などに協力



傾城阿波の鳴門奥

### ■プロジェクト福良（「学生地域アクションプラン」採択団体）

使われていない古民家や地域交流施設「ギョギョタウン」を、福良まちづくり協議会と協力し、学生ならではの視点で改修案を提案し、設計改修を行い、地域の交流の中心となるような憩いの場を創出





# 神戸大学×淡路市 地域課題への取り組み



- 2024年6月21日 **医学部附属病院との協定締結**
- (目的) 相互の緊密な連携により、地域の課題に適切に対応し、**市民サービスの向上や市民の心身ともに健康で充実した生活の実現を図る**

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



### ■ 淡路市と連携協定を締結

令和6年6月21日、淡路市役所で「淡路市と国立大学法人神戸大学医学部附属病院との連携に関する協定」の締結式が行われ、神戸大学医学部附属病院の眞庭 謙昌病院長と病院関係者、門 康彦市長と市役所関係者が出席しました。この連携協定の取り組みとして、神戸大学医学部附属病院の知見を活かし、淡路市が市民に向けて多様化する医療ニーズへの対応と医療サービスの充実を図り、同市が推し進める医療・健康増進の支援に取り組んでまいります。



# 神戸大学×淡路市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 総合治水対策としての「水田貯留」「ため池貯留」（農学研究科田中丸治哉教授と淡路県民局洲本土地区改良事務所などとの連携）



連携先  
淡路県民局洲本土地区改良事務所

ため池事前放流による雨水貯留容量の確保と洪水軽減効果の評価

田中丸治哉（水環境学）

淡路市、洲本市、南あわじ市のため池群を対象として、営農に支障がないため池事前放流によって確保できる雨水貯留容量を見積もるとともに、その洪水軽減効果を評価している。淡路市山田の寄合池では降水量とため池水位の観測を実施している。

■ 認知症予防教室「60代からのeコグニケア&オンラインフィットネス」（神戸大学、淡路市などとの連携）

コロナ禍での運動不足や認知症予防に♪

参加費無料！  
対象者：60代から

60代からの  
eコグニケア&オンラインフィットネス

ご自身のスマートフォンやパソコンなどから下記2種類の取組に参加できます。オンラインツールの使い方は事前の説明&体験会で丁寧に説明しますので、ご安心ください！

① eコグニケア

神戸大学発の認知症予防・健康づくりのプログラムです！  
ご自身のスマートフォンやタブレットで講師と繋がり、運動をしながら、頭の体操を同時に行います。

【実施内容】

- ・2重課題運動(頭と体を使う運動など)
- ・健康づくりセミナー(神戸大教授のお話など)
- ・認知機能検査・生活習慣評価 など



② オンラインフィットネス

体力作りや参加者同士の交流を目的に、楽しく運動を継続するプログラムです。eコグニケアよりも強度の高い運動なので、体力をつけたい方におすすめです！

【実施内容】

- ・運動(筋トレやストレッチなど)



eコグニケアとオンラインフィットネスの詳細はこちらのQRコードからHPをご覧ください！



開催曜日や事前説明&体験会の申し込みは裏面をご覧ください

【問い合わせ】  
淡路市健康福祉部地域福祉課 電話 0799-64-2145 (IP:050-7105-6217)

県は、県民の認知症への正しい理解や健康づくりを促進し、県内の認知症予防施策を一層推進することを目的に、神戸大学が開発した認知症予防等のプログラム「コグニケア」を活用する、淡路市における認知症予防を強化した先駆的な取組「IoTヘルスケア推進事業」のプロセスと成果を共有し、県内外に広く情報発信するため、1.神戸大学、2.淡路市、3.株式会社三菱総合研究所、4.アトラス情報サービス株式会社 5.県の5者による協定を6月に締結しました。淡路市において、新たな認知症予防教室「60代からのeコグニケア&オンラインフィットネス」の本格実施を前に、説明体験会が開催されます。

# 神戸大学×南あわじ市・淡路市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

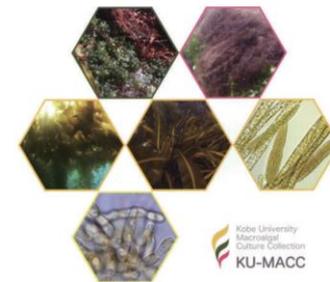
地球温暖化対策の切り札として注目されている**ブルーカーボン**  
(海洋に生育する藻類や海草によって吸収・固定される炭素)



内海域環境教育研究センターが保有する世界最大規模の海藻類系統株コレクション（KU-MACC）を活用して、事業対象とする海域での育成（養殖）に最適な海藻を探索し、洋上風力発電のために設置される施設と組み合わせることによって、育成場所の問題をクリアするだけでなく、風力発電や成長した海藻を利用したバイオ燃料による再生可能エネルギー利用も加速



**KU-MACC**  
神戸大学 内海域環境教育研究センター  
海藻類系統株コレクション  
Kobe University Research Center for Inland Seas  
Kobe University Macroalgal Culture Collection



Kobe University Macroalgal Culture Collection

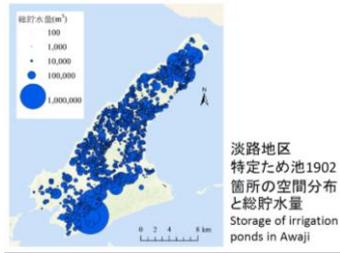


# 神戸大学×洲本市 地域課題への取り組み



## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 総合治水対策としての「水田貯留」「ため池貯留」（農学研究科田中丸治哉教授と淡路県民局洲本土地区改良事務所などとの連携）



洲本市・三木田大池に設置された洪水吐切欠きと可動堰

■ 洲本市内の放置竹林課題解決フィールドワーク  
（法学研究科パブリック・コミュニケーション・センター）



■ 兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした  
医療系人材育成促進事業（地域連携公募事業）



医師不足地域の県立高校では、地域の医療を支える人材を育成することを目的として「医療系人材養成プログラム」が実施されている。地元の医療現場を訪れ、講演や見学を通して業務に触れるとともに、倫理観、コミュニケーション能力などを学び、医療系職種を目指す若者を奨励することを目指している。

神戸大学は、兵庫県教育委員会と協定書を交わしてこのプログラムと連携する形で「**兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業**」を行うこととなった。令和元年度に先行事業を実施したところ、関係者に好評で成果が得られたことから、令和2年度より正式事業を開始した。

洲本高校などの高校生が医学部や同附属病院の医療現場や研究室などを見学・体験することで医療・医学に対する興味と関心を喚起し、目的意識を持って医療系職種を目指す人材を育成するための諸活動を行なった。

# 兵庫県外での連携事業



# 神戸大学×大分県中津市 地域課題への取り組み



- 2016年4月22日全学連携協定締結
- (目的) 中津市出身で神戸大学の礎を築いた水島鐵也先生の遺徳を顕彰するとともに、世界に開かれた視野を持ち、人間性豊かな水島校長の精神を共有し、連携して次世代を担う人材育成や地域づくりを進める

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

■ 中津市歴史博物館の運営支援  
(奥村弘理事・地域連携推進本部長が運営協議会の会長)



テープカットの様子



2023新中津市学校市民講座の第3回目  
「中津の古代史を知る」(2024/3/30)

■ 市内高等学校出前講義  
R7年度は、中津南高等学校で、安部梨杏特命助教(農学研究科)による「農村における地域づくりや人づくり」と題した出前講義を実施



■ 中津市教育委員会アーカイブズ講座  
R4年度より、セミナー「文化財レスキュー・襖下張剥がし」の講義と下張剥がし実習の実施(松下正和・地域連携推進本部)  
(2024年度153千円)





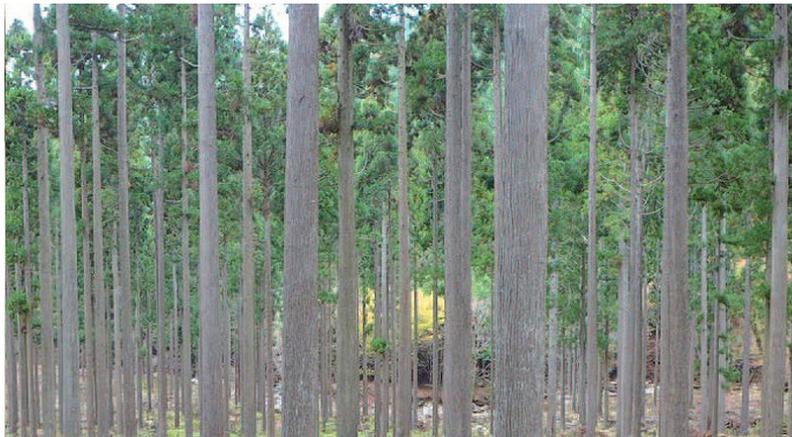
# 神戸大学×岡山県西粟倉村 地域課題への取り組み



- 2018年1月15日 農学研究科と協定締結
- (目的) バイオエコノミーを基軸とした西粟倉村のSDGs達成を目標、地域の発展と地域活性化に必要な人材育成に寄与

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

バイオエコノミーを基軸とした西粟倉村の持続可能な開発目標 (SDGs) 達成



農学研究科教員が、村内の林班毎の管理状況、生長速度を定量した。また、森林から伐り出した材の用途を調べ、村のカーボンフットプリントを測定した

岡山県英田郡西粟倉村は、岡山県と兵庫県の県境に立地する人口約 1,500 人の自治体であるが、2008 年に「百年の森林構想」を制定し、村が森林育成管理を担う委託事業と木材の流通加工を行う第 3 セクター設立を進め、2013 年に環境モデル都市 (内閣府)、2014 年にバイオマス産業都市 (農林水産省) に認定された。

その後、新規企業を誘致する戦略を進め、同村では 2013 年以降 28 社の新規ベンチャーが発足し、現在急速に移住者が増加しつつある。

農学研究科は、2018 年 1 月 15 日に西粟倉村との連携・協力に関する協定を締結した。今後、相互の人的・知的及び物的資源の活用により、同村の持続可能な開発目標 (SDGs) を達成すること最終目標とし、地域連携活動を推進していく。

# 企業との連携事業



# 神戸大学×神戸新聞社 地域課題への取り組み



- 2014年7月7日 **全学協定締結**
- (目的) 地域活性化への相互協力や防災意識の向上など

## 連携拠点でのさまざまな取り組み



**豊岡編**

2017.9.29

神戸大学経営学部 南ゼミ

### 「地方が面白くなる大学ゼミツアー」での豊岡訪問

大学ゼミの学生が、地方の企業や地方創生の取り組みに直接触れ、地域の魅力を体感し、地域の“いいところ”をレポートするバスツアー

神戸新聞創刊120周年  
ひょうご神戸プラットフォーム 第4回COC+シンポジウム

**五国の未来をひらく**  
～大学知と社会知をむすぶ～

参加無料  
明日参加可

日程 平成31年1月25日(金)  
13:00～16:00

会場 神戸大学  
第115号学生実習室2階 大会棟裏

**プログラム**

13:00～13:30 開会  
13:30～14:30 第一セッション 本学知と社会知をむすぶ  
14:30～15:00 第二セッション 情報発信の進化と地域課題  
15:00～15:30 閉会

主催 神戸大学、神戸新聞社、兵庫 ひょうご神戸プラットフォーム 協賛 地域創生の拠点

**神戸新聞創刊120周年 ひょうご神戸プラットフォーム 第4回COC+シンポジウム「五国の未来をひらく～大学知と社会知をむすぶ～」(2019年1月25日)**

### 120 WORKPLACE KOBE (レンタルオフィス・コワーキングスペース) を活用したイノベーション



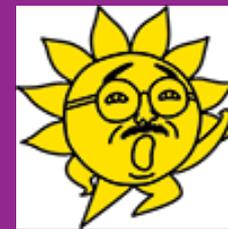
### 神戸大学×神戸新聞社「情報で、命を守る」アイデアソンを開催 (2023/12/9)



2025年の阪神・淡路大震災30年に向け、災害時の正確な情報提供の在り方を学生と地元メディアと一緒に考えようと企画し、サンテレビやラジオ関西も参加しました。学生とメディア関係者の混成チームで、災害時の情報発信にかかわる課題や解決策を熱心に議論しました。



# 神戸大学×サンテレビジョン 地域課題への取り組み



- 2021年7月2日 **全学協定締結**
- (目的) 地域再生や防災・減災などにおいて連携・協力



サインした協定書を持つ藤澤学長(左)とサンテレビ沼田社長(右)

## 連携拠点でのさまざまな取り組み

震災文庫デジタルアーカイブでサンテレビジョン撮影の映像を新たに公開しました

Tweet LINEで送る

Great Hanshin-Awaji Earthquake  
Disaster Materials Collection

震災文庫



■ 震災文庫デジタルアーカイブにて、株式会社サンテレビジョンより提供いただいた、**阪神・淡路大震災関連映像150件**を新たに公開

これらの映像は、同社のカメラマンが被災地での取材において撮影し、震災報道の素材となった大量の映像の一部。公開する映像には、建物が被災した神戸市立西市民病院での患者救出の様子や、他の放送局は撮影できなかった震災当日の淡路島の被災状況など、貴重な映像が幾つも含まれている。

今回の公開により、サンテレビジョンの1月18日の撮影映像を全て公開。1月19日以降に撮影した取材映像の、デジタルアーカイブでの公開、もしくは館内閲覧での提供については、サンテレビジョンと人文学研究科地域連携センターと引き続き協議しつつ、今後も進めていく予定。



# 神戸大学×ラジオ関西 地域課題への取り組み



- 2023年3月1日 **全学協定締結**
- (目的) 放送を通じて大学からSDGsやカーボンニュートラル関連の研究や、地域連携プロジェクトの紹介による地域社会への貢献と発信、学生も交えた地域活性化の取組や人材育成において連携・協力

## 連携拠点でのさまざまな取組み

- 神戸大学がラジオ関西で情報発信  
「**神戸大学☆夢ラボ**」が2023年4月からスタート  
(2024年度実績…計26回放送。藤澤正人学長を含む教員25名、学生1名が出演)



この番組は、神戸大学の先生に登場いただき、日夜研究されている専門分野のお話、そして今社会にとって最も必要な事の一つでありますSDGsに関わる研究内容や、それが社会にどう生かされていくのか、また未来の地球や日本、神戸に対してどう私達は考え行動していくべきなのか！を熱く語っていただく番組となっております。

放送日時

日曜9:30~9:45



連携協定締結の様子



第1、2回収録風景より

今回協定を結んだラジオ関西は、SDGsの地域への浸透を重視しており、神戸大学における最先端の研究成果や地域での取り組みを連携して発信することで、市民の意識や行動の変化につなげていきたい考え。

番組には、1人の研究者が2回にわたって出演する。1年間で計26人の教授陣、学生が登場する。進行は、神戸大学出身のピアニストでラジオパーソナリティの天宮遥さんが務める。天宮さんの質問に研究者たちが答える形で、研究内容だけでなくストレス解消法や趣味、こだわりなども本音で語り、大学を身近に感じてもらうことを目指す。

(ラジトピHPより)